



荳崎市第8次総合計画策定に係る

# 市民ワークショップ開催報告書

令和8年1月

荳崎市財務政策課

# 1 市民ワークショップの概要

## 目的

- 韮崎市の最上位計画となる「韮崎市第8次総合計画」の策定に向けて、計画満了年の2035年(令和 17 年)の理想の未来像について市民の皆さんの意見を集める場として開催しました。
- 本市の生活環境や各種施策に対する意見・課題や新たなアイデア・提案など、市民目線からの生の声を集め、関係部署へのフィードバックや「官民ワークショップ」に反映しながら計画策定につなげることを目的としています。



## 開催日程

開催日	テーマ	開催場所	参加人数
令和7年12月 23日(火) 19:00～21:00	<b>韮崎市の理想の未来づくりワークショップ</b> (市民対象) ・今の韮崎市のすきなところ、困り事 ・理想の未来実現に向けたキーワード ・10年後の理想の韮崎市は「～なまち」ベスト3	ニコリ3階 会議室	21人
↓今後のワークショップ予定↓			
令和8年5月頃予定	<b>理想の未来を実現するプロジェクトを具現化しよう</b> (市民・市職員対象) ・第1回の振り返り(課題、将来像) ・各テーマに分かれて取組みを提案しよう！ (例:子育て・教育、産業・文化、福祉・教育、防災・減災、都市交通)	-	-
令和8年6月頃予定	<b>第3回 プロジェクトの実現に向けたプロセスを考えよう</b> (市民・市職員対象) ・実現性のある重点プロジェクトを考えよう！ ・プロジェクトごとの推進体制、役割分担、プロセスについて考えよう！	-	-

## 参加者

市民ワークショップの参加者は、以下のメンバーによって構成されました。

- 公募市民
- 総合計画策定委員会 委員



## 当日の流れ

### インプット・自己紹介

- 韮崎市の基礎情報・統計データについて、特に直近 10 年間の変化について、事務局から説明



- 自己紹介と共に、韮崎市の現状や課題について気になることについて情報共有



### ① 韮崎市の好き・課題

- 韮崎市の「好きなところ」「課題」についてキーワードを書き出す
- 似た意見は近くに貼って体系化



### ② 理想の未来を描いてみよう

- 前のワークを踏まえ、理想の未来では「何がどのようになっている(している)」かについて意見出し
- それぞれの意見に共通するキーワードがあれば中心に記載
- 理想の未来を表現するキャッチコピーを各班3つ作成

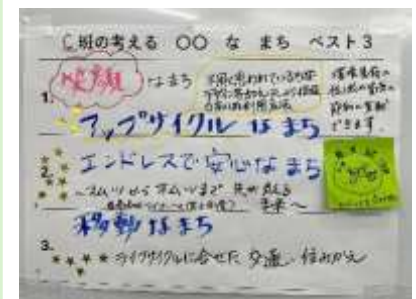


### ★AI キャッチコピー

- ワーク①の意見を全4班分入力し、4 班同様の形式で AI によりキャッチコピーを作成
- AI によりスローガンに関する発表資料を作成

### 全体発表

- キャッチコピーの作成経緯や想いを共有
- 最後投票を実施(1人3票)

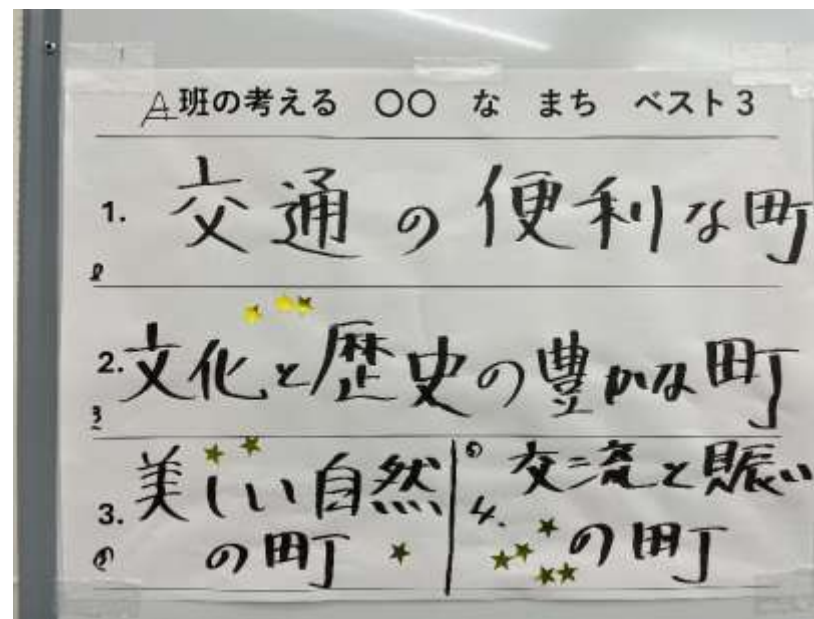
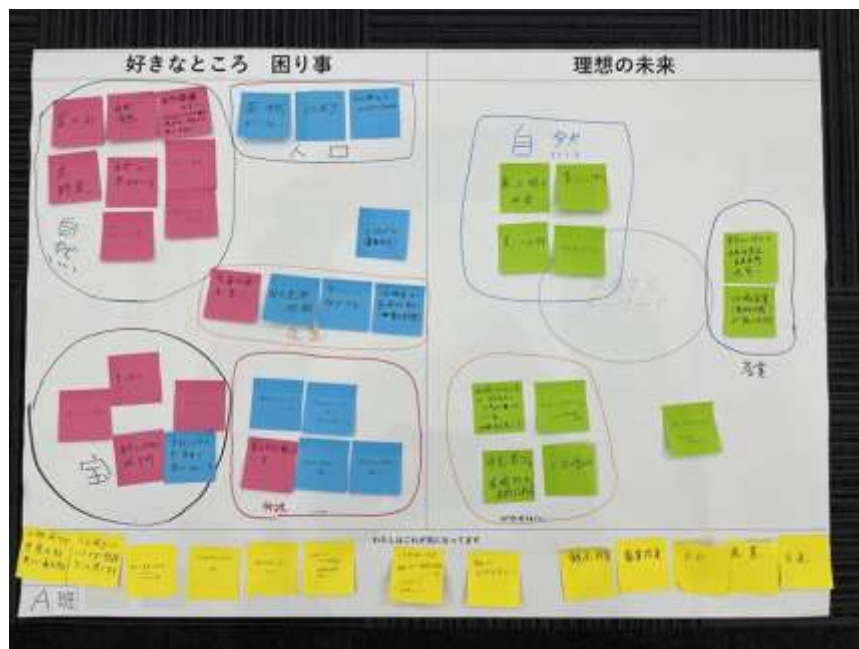


## 2 市民ワークショップの結果

### A 班

好きなところ・困りごと	理想の未来
<p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 富士山</li> <li>▪ 自然景色</li> <li>▪ 自然環境がよい</li> <li>▪ 台風などがさけて通る</li> <li>▪ 緑・水・空気がよい</li> <li>▪ 道が分岐点</li> <li>▪ 米野菜</li> <li>▪ 自然に恵まれている</li> <li>▪ 自然が豊富</li> <li>▪ 急流富士川の風景</li> <li>▪ 百名山がよく見える</li> </ul> <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 交通の便が良い</li> </ul> <p>【宝】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ サッカー</li> <li>▪ 歴史と文化が豊か</li> <li>▪ 住人が多い</li> <li>▪ 東京エレクトロン城下町</li> </ul> <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 官公庁が整っている</li> </ul>	<p>【人口】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 若い世代がない</li> <li>▪ 人口減少</li> <li>▪ 人口減少をどのように止めるか</li> </ul> <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 母の免許返納</li> <li>▪ 歩いていくところが少ない</li> <li>▪ JR 特急が韮崎まで来ない(竜王始発)</li> </ul> <p>【宝】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 文化レベルがあまり高くない?</li> </ul> <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 情報発信が下手</li> <li>▪ 市職員のスキルが低い(かつては高かった)</li> <li>▪ 自治会の持続が難しい</li> <li>▪ 消防団の持続が難しい</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 土地がない(農振地区)</li> </ul>

韮崎市の理想の未来 ○○なまち	発表内容
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 交通の便利な町(0票)</li> <li>2. 文化と歴史の豊かな町(3票)</li> <li>3. 美しい自然の町(2票)</li> <li>4. 交流と賑わいの町(5票)</li> </ol>	<p>A班は4つの案が出ました。1番目は、10年後はやっぱり生活の中でのやっぱり交通の利便性をしっかり確保できる便利な町ということで、1番目にあげました。</p> <p>2番目は、韮崎っていうのは長い歴史となって、やっぱり文化がある町なので、これをしっかり前に出して次の世代に継承して行って、10年後、豊かなまちでありたいという思いを込めました。</p> <p>それから3番目は、よそから来ると、今の富士山もそうですし、鳳凰三山などは、1か所で北岳など様々な山が全部見えます。</p> <p>こういう美しい景観、美しい自然もやはり我々の宝ということで、10年後に残していきたいと考えています。</p> <p>4番目は、やっぱり人がいないと、賑わいが大事なので、やっぱりインバウンドを含めた、もしくは首都の移転なんかも含めた形の、やっぱり交流と賑わいがある町に、ぜひ10年間で変わってほしいということで以上4点をあげました。</p>



## B 班

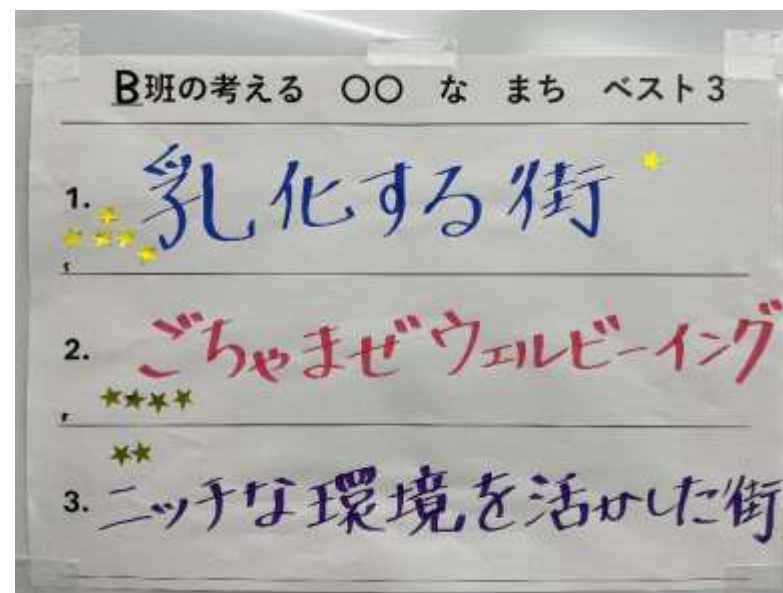
好きなところ・困りごと	理想の未来
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ マイナーだけど深み</li> <li>▪ ごちゃまぜ</li> <li>▪ ほどほど都会</li> <li>▪ 中途半端な田舎</li> <li>▪ 中間的なところ</li> <li>▪ コンパクトシティ</li>   <li>▪ オンデマンドバスが家の前</li>   <li>▪ 渡辺漢方薬局の先生</li> <li>▪ いい人が多い</li>   <li>▪ ビッグイオンが安い！</li>   <li>▪ 子育て支援が充実</li> <li>▪ にらちび</li>   <li>▪ 独特な地形</li> <li>▪ 中央公団で健康づくり (ウォーク・ストレッチ・体育館)</li> <li>▪ 大村博士が凄い！</li> <li>▪ うじゅうの森</li> <li>▪ 自然</li> <li>▪ 山はすばらしい</li> <li>▪ 山々風景(南アルプス・八ヶ岳・富士山)</li> <li>▪ 山がきれい</li>   <li>▪ 飲み屋さんが増えた</li> <li>▪ アメリカヤ横丁界隈のにぎわい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ バス・移動手段が少ない</li> <li>▪ 先住者と移住者のコミュニケーションが希薄</li> <li>▪ 区の運営がうまくいかない</li> <li>▪ 地域自治</li>   <li>▪ 仕事がない</li>   <li>▪ アパートが少ない</li> <li>▪ 土地がない</li> <li>▪ 農振はずれない</li>   <li>▪ 学童期</li> <li>▪ 小中学校の適正規模・配置</li> <li>▪ 小学校が閉鎖的</li>   <li>▪ コンビニが遠い</li> <li>▪ 飲食店が少ない</li>   <li>▪ 補助金が少ない(農業)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 子育て世代の住みやすい住居がたくさん増える</li> <li>▪ ニッチな環境をいかしたまち</li> <li>▪ 農業がよりさかんになり、ぶどうやワインが有名に！</li> <li>▪ 葎崎のブドウをもっと尊重してほしい</li> <li>▪ 市民がみんな登山経験がある</li> <li>▪ 景観や文化財でヘルスケアシティ</li> <li>▪ 健康なまち</li> <li>▪ 地産地消のまち(野菜・ワイン・米・果物)</li> <li>▪ 観光客が増えている</li> <li>▪ 登山客が増えて登山イベントが充実</li>   <li>▪ 防災で地域をつなぐ</li> <li>▪ 環境が中心にあるコミュニティー</li> <li>▪ 高齢者増加→あて職×協議体</li> <li>▪ たすけあいのまち・仕組みづくり</li> <li>▪ 防災ネットワーク</li> <li>▪ 地域のつながりが強くなり災害時も安心</li> <li>▪ 高齢者と子供の共存</li> <li>▪ 自治会の若返り</li> <li>▪ ミアキスのような小学生が利用できる施設ができる！</li>   <li>▪ 超コンパクトシティの実現(川向こうヘライトレールを通す)</li> <li>▪ 徒歩圏で暮らせる商店街</li> <li>▪ バランスのとれた街</li> </ul>

- 地元で作ったワインが飲める！
- ブドウが凄く良い！
- ぶどうおいしい

(防災で地域をつなぐ街、文化財と新たな事業、異質なものを共存、乳化する街)

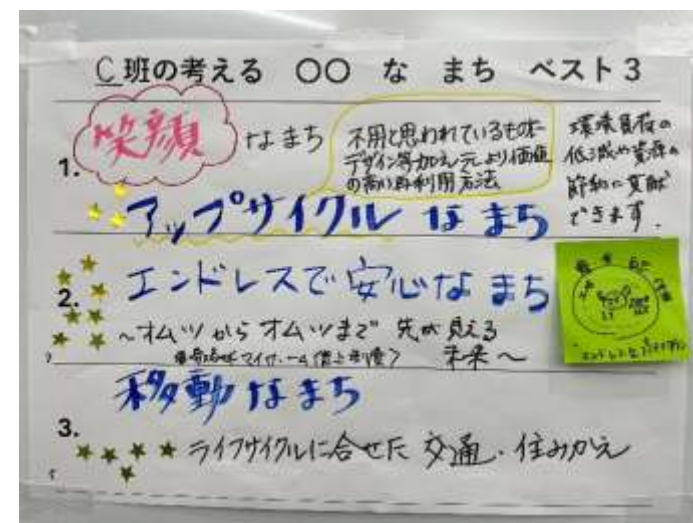
- 車を必要としない交通の更なる充実(福祉含め)
- 人がつながる場所
- 確変が起こる
- サイゼリヤ・餃子の王将の誘致
- 家族で利用できる飲食店が増えている
- スタートアップの拠点ができて支援が充実

韮崎市の理想の未来 ○○なまち	発表内容
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳化する街(6票)</li> <li>2. ごちゃまぜウェルビーイング(4票)</li> <li>3. ニッチな環境を活かした街(2票)</li> </ol>	<p>3位から申し上げます。</p> <p>3番がニッチな環境を活かした街ということで、環境の中には、山梨市が日本へ誇るブドウであったり山などの自然環境を指しております。ですが、残念ながらまだ全国にはその魅力がまだ伝わっていない。</p> <p>そんなニッチを目指して、観光のお客様であったり地元の方が集まるような町を目指していきたいと願っております。</p> <p>2つ目は、ごちゃまぜウェルビーイングです。ウェルビーイングは生活の豊かさだと思いますが、ごちゃ混ぜというのは、赤ちゃん・幼児からご高齢の方まで、防災という共通の話題を通して、ウェルビーイングを実現していけるような街を思い描きました。</p> <p>最後、第1位は乳化する街ということで、乳荷とは、水と油のような混ざり合わないものを無理やり混ぜ合わせドレッシングにするような、そんなまちです。</p> <p>例えば、大村博士のノーベル賞のような伝統的な歴史ある中に、スタートアップの企業が立つことで、本来は混じり合わないようなものが化学変化を起こす、そんなまちを目指したいと思いました。</p>



好きなところ・困りごと	理想の未来
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 飲む所が駅から近い</li> <li>▪ 駅がある</li>   <li>▪ 美味しい農作物</li>   <li>▪ 商店街で言うと個性的な外観のお店が多い</li>   <li>▪ 子ども達のがのびのび(のんびり?)している</li> <li>▪ 人柄が良い</li> <li>▪ 人が優しく包容力がある</li>   <li>▪ 緑・自然豊か</li> <li>▪ 子育てしやすい自然</li> <li>▪ 自然景観が良い</li> <li>▪ 季節の移ろいを肌で感じる</li>   <li>▪ 店がある程度(病院も)そろっている</li> <li>▪ コンパクトな町に色々ある(買い物・クリニック etc…)</li>   <li>▪ 先輩・後輩の絆が深い。特に韮崎高校</li> <li>▪ 小学校が目の前→放課後遊んでいた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ バスの便が少ない</li> <li>▪ 交通渋滞</li>   <li>▪ 世界遺産がない</li> <li>▪ 見どころが少ない(観光名所)</li> <li>▪ 街の PR が下手</li> <li>▪ 市民がよい所を説明できない</li>   <li>▪ 子供が少ない</li> <li>▪ 赤ちゃんがいない</li> <li>▪ 児童館入れない</li> <li>▪ 祖父母の年齢</li>   <li>▪ 韮崎中心がまださみしい</li> <li>▪ 空き店舗・家</li> <li>▪ 高齢者の住宅問題(我が家もどうする…先が見えない)</li>   <li>▪ 広めるには土地・土が少ない農業</li> <li>▪ 農地が荒れたままでどうしよう…</li>   <li>▪ 野生動物被害</li>   <li>▪ 人との距離が近い。監視社会</li> <li>▪ 大人が怒らないで。子供・母に優しくない</li>   <li>▪ デジタル化もう少し頑張ら!!</li> <li>▪ ものづくりの町→工業高校との連携弱い気がする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ にぎわいのある商店街(全国から注目を集めるような。再生の成功例になるような)</li> <li>▪ 保育園をリノベして高齢者が住む→家は若人に</li> <li>▪ 街の雰囲気明るく空き家が少なく</li> <li>▪ 住宅課題は特区で解決!</li> <li>▪ マイホーム借上げ制度</li> <li>▪ まち・商店街に付加価値を与えアップサイクルのまち韮崎</li> <li>▪ 空き家群をリノベーションしてリノベーション村に若い世代が転入・集中→ブランディング</li>   <li>▪ 行きたい場所に安く移動が好きな時にできる</li>   <li>▪ 食べ物の自給率 100%</li> <li>▪ 食への不安解消</li>   <li>▪ 子供が笑顔</li> <li>▪ 大人が勉強している・古くない</li> <li>▪ 人と人をつなぐ人がいて分かりやすい街(相談しやすい)</li>   <li>▪ やりたい事が目指せる町(事業主)</li> <li>▪ やりたい事が目指せる町(市民)</li> </ul>

韮崎市の理想の未来 ○○なまち	発表内容
1. アップサイクルなまち(3票) 2. エンドレスで安心なまち(7票) 3. 移動なまち(5票)	<p>まず、大前提として、笑顔な街を作るためにはどうしたらいいかってことで、みんなで考えました。そこで笑顔な街を作るために、1番目はアップサイクルな街ということを手挙げさせていただきました。</p> <p>不要と思われるようなものにデザインなどを加えることで、付加価値を与えることで、より価値の高い再利用方法をアップサイクルと言います。それは、環境負荷の低減や資源の節約に貢献できます。</p> <p>例えば、アメリカヤとかもそうですが、空き家をアップサイクルしてリノベーションしたり、あとは卵の殻で塗り壁を作って、珪藻土のような調湿効果の高い壁材ができたり、あとは、履かなくなったデニムの生地を解いて、それをまた新しい生地を作ったり、そういう本来捨てられてしまうものを有効利用する活用方法がとられており、これはまさにアップサイクルです。</p> <p>2番目、エンドレスで安心な街です。サブタイトルが「オムツからオムツまで先が見える未来」ということで、赤ちゃんからご高齢の介護まで、主役はそのお世話をする人たちだということ、「子育て支援から介護の方まで」という思いを込めています。これに関連するのがマイホーム借り上げ制度といで、高齢の方が空き家になる前にその家を誰か若い人に貸して、その高齢の方は今空いてしまった保育園などに住んで、地域医療と連携している、そういったエンドレスなまちがいいなってことで考えました。</p> <p>3番目は、ライフサイクルに合わせた交通ということ、おばあちゃんたちが好きな時に行きたい場所に安く移動できる交通の移動と住み替えの移動の意味をあわせました。老人の高齢者の方も住み替えができる、若い方も住み替えができる。それで、中心に若い人が来て、その周りでゆっくり高齢者が住んでもらえるような「移動」のをイメージしております。</p>

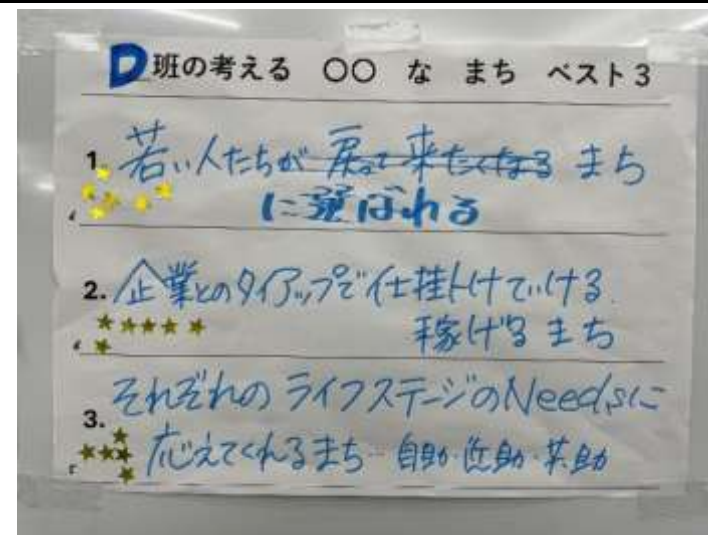


## D 班

好きなところ・困りごと	理想の未来
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 頑張る製造業</li> <li>▪ 子供がはたらく場所で移動を得る</li> <li>▪ 働く所がある</li>   <li>▪ 結婚により転入</li> <li>▪ 生まれ育った所</li>   <li>▪ 好感度のある人付き合い</li> <li>▪ 生きづらさを持つ子どもや若者へ見守る関わり</li> <li>▪ 第3の居場所となるサポート(小・中・高～)</li> <li>▪ 子育て支援(にらちび)</li> <li>▪ 青少年育成(ミアキス)</li> <li>▪ 若者がチャレンジしやすい</li>   <li>▪ サッカーのまち</li>   <li>▪ 土地がある</li>   <li>▪ アメリカヤ(商店街)</li> <li>▪ 駅前リノベーションの雰囲気好き</li> <li>▪ こだわりの移住?</li> <li>▪ 車あってこそ…ちょうどよい距離感、あらゆる場所・目的地…</li> <li>▪ 駅がある。3つも</li> <li>▪ コンパクトシティ</li> <li>▪ コンパクトな町、便利</li> <li>▪ ラザ(ラザウオーク甲斐双葉)に 10 分位でいける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 起業しやすい・チャレンジしやすいまち</li> <li>▪ 住んでいる人が満足している</li> <li>▪ 住んでいる人が自分らしく生き生きとしている</li> <li>▪ 年齢を重ねても安心して暮らせるまち</li> <li>▪ お互いの顔が見れる安心感</li>   <li>▪ 製造業で働く人が韮崎に住む</li> <li>▪ さらに土地集団化・工業誘致が必要となる</li>   <li>▪ 韮崎がもっと有名になっている</li>   <li>▪ 子育てで戻ってきたくなるまち</li> <li>▪ 子どもたちが学びたい場所で学びたいことを自由に学べる・過ごせる教育環境</li> <li>▪ 子ども達一人一人が自分らしく学べる場所がある</li> <li>▪ 子ども達をまちの人達が温かく見守りケアする人間関係</li>   <li>▪ 自然がそのまま残されている(宅地ばかりにされていない)</li> <li>▪ 豊かな自然との共生…鳥獣害?</li> <li>▪ 自然を楽しみながら季節を楽しめる生活がある</li> <li>▪ 景色を楽しみに韮崎に来る</li>   <li>▪ (客)リニアを利用し住み良い街</li> <li>▪ 市外からの来訪者がたくさん訪れるまち</li> <li>▪ 商店街に平日も人がいる状態</li> </ul>

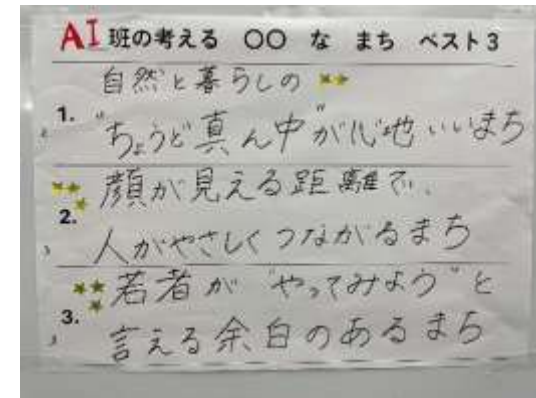
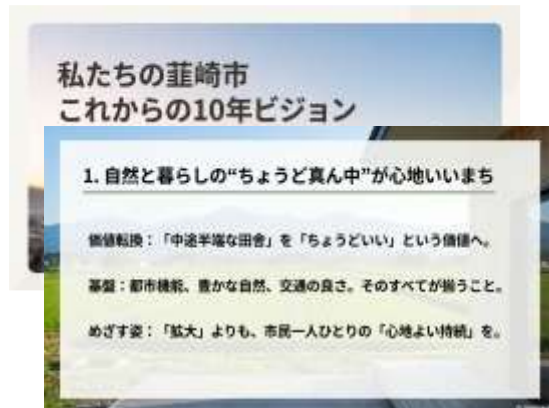
<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 山が近い(自然が豊か)</li><li>▪ 紅葉スポット</li><li>▪ 自然豊かな景観</li><li>▪ スキー場まで1時間かからない(登山口も)</li><li>▪ 七里岩からの景色</li><li>▪ 景色(八ヶ岳・南アルプス・富士山・川面のもや・広い空・広がる水田風景)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 商店街の個展が魅力的で、市内外から買い物客が集まってくる</li><li>▪ 空き家・駐車場の利用</li><li>▪ 空き家がリノベーションされ、若い人達が楽しみながら生活する</li><li>▪ 韮高サッカー一部選手権優勝</li></ul>
--	---

韮崎市の理想の未来 ○○なまち	発表内容
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若い人に選ばれるまち(6票)</li> <li>2. 企業とのタイアップで仕掛けていけるまち(6票)</li> <li>3. それぞれのライフステージのNeedsに応えてくれるまち(自助・近助・共助)(5票)</li> </ol>	<p>1番から発表します。</p> <p>若い人たちに選ばれるまちということで、2重線で消去している部分があるのですが、1番最初に出た意見としては、若い人たちが戻ってくるまちと書いてあるのですが、そうすると、まず戻ってくるっていうちょっと強制的なイメージを持ちました。なんか地元の人、若い人だけに絞られてしまうと思って、途中で考え方を改めて、どこに行っても、どこ出身の方でも「韮崎っていいな」と思ってもらえるようなまちが良いと思いました。</p> <p>私ももうアラサーに突入してきましたので、これから色々なライフステージがまた来るのですが、そういったライフステージの中で、自分と同世代の人たちが、出身に関わらず韮崎の魅力が伝わって、戻ってこれるというか、選ばれるようなまちになったらいいなということで1位に選ばせていただきました。</p> <p>2番目、企業とのタイアップで仕掛けていける稼げるまちということで、要するに稼げるまちにしたいよね、という意見が出ました。製造業が強みであるという韮崎市のところの価値を最大化させたり、商店街で言えば、やはりこの個人規模の店舗でちゃんと稼げたりというか、消費行動が生まれるような、そんなまちを目指していきたいという意見が出ました。</p> <p>3番目は、「それぞれのライフステージのニーズに応えてくれるまち、自助、近助、共助」ということで、例えば子育て世代でいう「ニラチビ」、青少年、子供、中高生でいう「ミアキス」とか、老後だったら介護施設とか、色々なライフステージによって色々求めるものは違うと思うので、ちゃんとそのニーズに応えていけるまちになりたい、ということでこのようなフレーズにしました。</p> <p>ただ、これらは行政サービスだけでは賄えない部分が絶対あると思うので、自助、共助とかそういったものでちゃんと補っていけるような、住民とか地域の意識など、そういったところから変えていけたらいいのではないかとということで選びました。</p>



# AIの成果物

韮崎市の理想の未来 ○○なまち	発表内容
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然と暮らしの”ちょうど真ん中”が心地いいまち(2票)</li> <li>2. 顔が見える距離で、人がやさしくつながるまち(3票)</li> <li>3. 若者が”やってみよう”と言える余白のあるまち(3票)</li> </ol>	<p>まず 1 つ目です。自然と暮らしのちょうど真ん中が心地いいまちということで、中途半端な田舎だ、という意見があるところをちょうどいいという価値に転換していくのがよいのではないかとこのところで、都市機能や豊かな自然、交通の良さ、それら全てが揃うところを「ちょうどいいという価値」に転換していくのが大事なのではないかという思いが込められています。目指す姿としては、都市を拡大していくというよりも、市民 1 人 1 人の心地いい持続を目指していこうというようなスローガンがまず 1 つ目です。</p> <p>続いて、「顔が見える距離で人が優しくつながるまち」というスローガンです。よく田舎で言われるような「距離が近すぎる」という意見があるのですが、それを地域で見守っていく、こう包んでいくというような暖かさへ転換していこうというような視点です。基本としては、誰もが、子供たちとかですね、高齢者も含めて、誰もが居場所を感じられる、人と人との関係性を育てていって、福祉・教育・子育てを支える思想的な柱として、地域力を高めていこうといった思いを込めて、このようなスローガンができています。</p> <p>続いて 3 つ目、若者がやってみようという余白のあるまちです。何もないという現状を、何かを始められる挑戦の余地があるという風に価値を転換しようという思いが込められています。</p> <p>空き家や、駅の近くを中心としたエリアなどです。新しいチャレンジを応援するような土壌をつくっていこうということで、完成された街ではなく、移住者も若者も全て関われる街になっていこうといったスローガンになっています。</p> <p>3 つ発表したのですが、これらには共通する 1 本の軸があります。拡大ではなく、ちょうどいい余白、持続を大切にすること。ハード整備というだけでなく、人間関係性、暮らしの質を豊かにしていく。誰か任せじゃなくて、市民が主役になれる、余地を作り出すというようなまちづくりを目指していこうということで、先ほどの 3 つのスローガンを掲げました。</p>



## 得票数ランキング

得票数	班	〇〇 なまち スローガン
7	C 班	エンドレスで安心なまち
6	B 班	乳化する街
	D 班	若い人に選ばれるまち
	D 班	企業とのタイアップで仕掛けていけるまち
5	A 班	交流と賑わいの町
	C 班	移動なまち
	D 班	それぞれのライフステージの Needs に応えてくれるまち(自助・近助・共助)
4	B 班	ごちゃまぜウェルビーイング
3	A 班	文化と歴史の豊かな町
	C 班	アップサイクルなまち
	AI 班	顔が見える距離で、人がやさしくつながるまち
	AI 班	若者が”やってみよう”と言える余白のあるまち
2	A 班	美しい自然の町
	B 班	ニッチな環境を活かした街
	AI 班	自然と暮らしの”ちょうど真ん中”が心地いいまち
0	A 班	交通の便利な町

### 3 参加者の感想

感想	言いそびれたこと・今後の要望など
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 色々な発見があって楽しかった。葦崎の発展につながればと思います。</li> <li>▪ おもしろかったです。ふつうであたりまえのことが乳化して、化学反応がおきたらわくわくします。</li> <li>▪ 楽しいファシリテートありがとうございました。AI がステキなまとめをしてくれていましたが、やはり市民が実際に話し「対話」することで、自分が普段考えている以上のことが生まれるので、とても大切だと思いました。</li> <li>▪ とても未来志向な気持ちになれました。大勢の方々意見と意見を交わせたことで、イメージを膨らますことができたり、とても楽しい時間でした。たくさんの気づきをいただけてとてもよかったです。</li> <li>▪ 過去は変えられないので未来の話をしましょう！他人の批判はやめましょう！</li> <li>▪ 自分の未熟さを痛感しました。葦崎市のコトであったり、自分のプレゼン力であったりです。</li> <li>▪ 普段お話しできない皆さんと葦崎の明るい未来について語ることができておもしろかった。もっといろいろな世代が集まるワークショップがあってもいいと思う。</li> <li>▪ AI の活用は面白かった。多かった用語など熱量が可視化されるともっと面白そう。</li> <li>▪ 具体的になるとなかなかでてこない。交流・働ける・介護・子ども達の魅力ある街になってほしい。</li> <li>▪ 皆さんの意見が聞いて良かったです。一人一人考えがあるのだと思いました。</li> <li>▪ 楽しく考えることができました。話しているうちにイメージが固まってくるのが良かったです。AI はすごい!!</li> <li>▪ いろんな立場の方からの意見を聞いて勉強になりました。</li> <li>▪ まとまりませんが様々な考えを聞いてよかったです。</li> <li>▪ 色々な考え方にふれて、考え方の幅と見方が広がりました。</li> <li>▪ あっという間の2時間でした。</li> <li>▪ 世代の違う方々と意見交換ができ楽しかったです。AI すごい。</li> <li>▪ 若い感性が素晴らしい。キャッチフレーズではなく具体案が必要か？</li> <li>▪ ありがとうございました!!</li> <li>▪ 時間計画通りにできなかった。</li> <li>▪ 時間が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 子供と高齢者、先住者と移住者など、つながりが強くなると良いなと思います。</li> <li>▪ ヘルスケアする資源(山・自然・文化財…)がたくさん潜んでいるので、葦崎の資源を活かし健康になりたいです。</li> <li>▪ 反映する・しないではなく、行政の方々も輪の中に入って、ぜひ一緒に一市民として「対話」をする機会があるとよいと思います。ぜひ、次回は一緒に！</li> <li>▪ ありがとうございました。AI すばらしいですね。</li> <li>▪ 参加者同士の交流がふんだんにあり、それぞれの意見や思いがまざり合い、1人では考えつかなかったコトも出力できて、私自身もとても学びになりました！今後ともよろしく願いいたします。</li> <li>▪ こういうワークショップを小学生・中学生・高校生など市内の子どもたちにもやってほしい!!</li> <li>▪ 交流を通して段々と良くなれば良い考えが生まれて来る気が致しました。話し合いは必要ですね。</li> <li>▪ 市政での活用を期待します。</li> <li>▪ 教育の向上を願います。</li> <li>▪ 次の開催、楽しみです。</li> <li>▪ 市全体の空き家対策をなんとかしなければいけないと思います。協力出来ることは今後もします。</li> <li>▪ 子どもが外で遊べる葦崎がイイです。</li> <li>▪ 小学校のデジタル化(体育館使用など)はすぐできそうなので市ががんばってほしい。</li> <li>▪ 2回目・3回目はもっと具体的な策を話し合いたいです。</li> <li>▪ 案内状にタイムスケジュールがほしい(始まる時刻のみで終了予定が不明)</li> <li>▪ 良い機会となりました。</li> <li>▪ 本来なら3グループとし、「市民のみ」「市職員のみ」「市民・市職員合同」で WS をして欲しかった。</li> </ul>

## 4 会の様子



会場全体の様子



ワークの様子



各班の発表に対する  
投票の様子